

# 新規事業採択時評価結果(令和8年度新規事業化箇所)

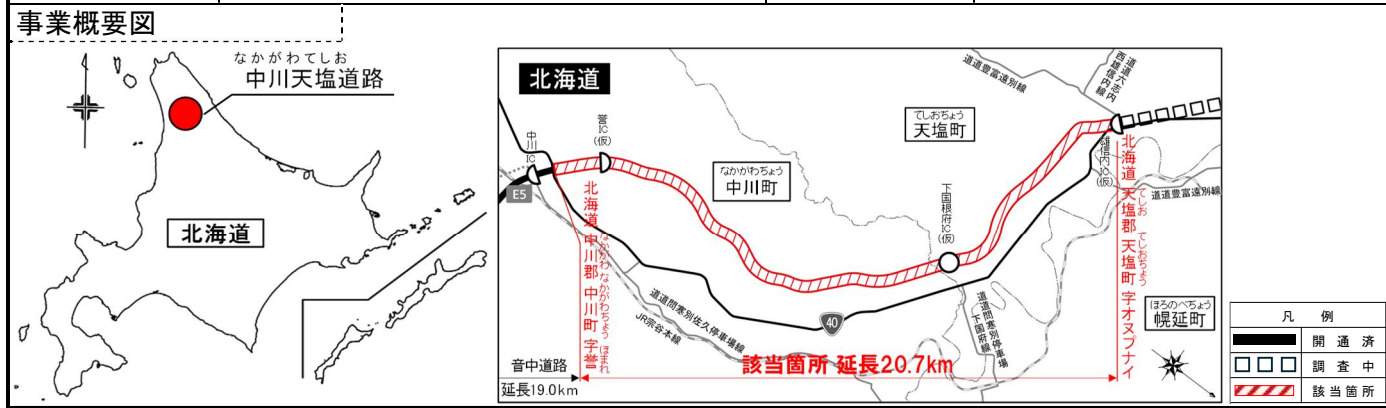
担当課: 道路局 国道・技術課

担当課長名: 西川 昌宏

## 事業の概要

事業名	一般国道40号(北海道縦貫自動車道) 中川天塩道路	事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 北海道開発局
起終点	自:北海道中川郡中川町字譽 至:北海道天塩郡天塩町字オヌプナイ	延長	20.7km		
事業概要	中川天塩道路は、北海道縦貫自動車道の一部を構成する道路で、北海道中川郡中川町字譽から北海道天塩郡天塩町字オヌプナイに至る延長20.7kmの自動車専用道路である。(北海道縦貫自動車道は北海道函館市から北海道稚内市に至る延長約681kmの高規格道路である。)				
事業の目的、必要性	当該区間の整備により、洪水浸水や暴風雪などの災害発生時における住民の避難や復旧活動を支える「命の道」として機能する信頼性の高い道路ネットワークを形成し、物流拠点、空港、港湾、高次救急医療施設等へのアクセス向上により道北地域における農水産業等の産業振興、救急搬送などの医療活動を支援するものである。				

全体事業費	約1,250億円	計画交通量	約3,000台/日
-------	----------	-------	-----------



## 関係する地方公共団体等の意見

新規事業採択時評価に係る「一般国道40号 北海道縦貫自動車道 中川天塩道路」事業の予算化に同意します。  
 当該事業は、ほたて・乳製品などの農水産物をはじめとする物流の効率化や、第3次救急医療機関のある名寄市への救急搬送における速達性・安定性の向上、異常気象時の道路機能の確保など多くの効果を発揮するものと考えています。  
 つきましては、当該区間を令和8年度の新規事業として予算化していただきますよう、特段のご配慮をお願いいたします。

## 学識経験者等の第三者委員会の意見

・新規事業化については妥当である。

## 対応方針(採択理由)

費用便益比が一体評価で 1.3 と便益が費用を上回っているとともに、計画段階評価手続きが完了し、事業採択の前提条件が確認できる。  
 また、当該区間の整備により、洪水浸水や暴風雪などの災害発生時における住民の避難や復旧活動を支える「命の道」として機能する信頼性の高い道路ネットワークを形成し、物流拠点、空港、港湾、高次救急医療施設等へのアクセス向上により、道北地域における農水産業等の産業振興、救急搬送などの医療活動の支援が期待できるなど、当該事業の必要性・効果は高いと判断できる。  
 以上より、本事業の新規事業化については妥当である。

事業評価結果(総合評価)

事業採択の前提条件
<input checked="" type="checkbox"/> 便益が費用を上回っている
<input checked="" type="checkbox"/> 事業実施環境が整っている

費用便益分析 (参考)	B/C	(参考)	EIRR	総費用	10,405億円	総便益	13,372億円	感度分析	基準年			
	[4%]	1.3 (0.2)	1.4	事業費: 維持管理費: 更新費:	8,812億円 1,510億円 84億円	走行時間短縮便益: 走行経費減少便益: 交通事故減少便益:	11,051億円 1,931億円 390億円			(参考) 時間信頼性向上便益: 1,110億円 CO2排出削減便益: 44億円	交通量変動	B/C=1.1~1.4 (変動ケース: ±10%)
	[2%]	1.5 (0.3)	1.7								事業費変動	B/C=1.3~1.3 (変動ケース: ±10%)
	[1%]	1.7 (0.4)	1.9								事業期間変動	B/C=1.3~1.3 (変動ケース: ±20%)
6.0% (-2.1%)												

※総費用、総便益とその内訳は、各年次の価格に社会的割引率(4%)を用いて基準年の価値に換算し集計したものである。  
 ※B/Cは札幌JCT～稚内を対象とした場合の値、( )書きの値は事業化区間を対象にした場合の費用便益分析結果。  
 ※B/Cの値は、社会的割引率4%を用いて計算した場合の費用便益分析結果。また、比較のために参考とすべき値として1%及び2%を設定し、それに対応する費用便益分析結果を参考として併記している。(( )内は社会的割引率の値)

事業の影響	評価項目		評価	根拠
	自動車や歩行者への影響	社会全体への影響		
	渋滞対策	-	注目すべき影響はない。	
	事故対策	◎	別線整備により事故危険区間を回避し、安全性の高いネットワークを構築する。 【事故危険区間】 現況:2区間 → 整備後:0区間(全て回避)	
	歩行空間	○	通過交通の転換に伴う、現道等の交通量減少により、歩行者、自転車の安全性向上に寄与する。	
	住民生活	◎	救急搬送時間の短縮により、救命率向上が期待され、地域医療サービスレベルの向上に貢献する。 【稚内市立病院～名寄市の高次医療施設の搬送時間】 現況:145分 → 整備後:141分(約4分短縮)	
	地域経済	◎	速達性・安全性の高い物流ネットワークを構築し、物流の効率化や地域の産業振興を支援する。 【稚内港～美深北ICの所要時間】 現況:121分 → 整備後:117分(約4分短縮) 【事故危険区間の回避】 現況:2区間 → 整備後:0区間(全て回避) 【狭小トンネル・狭小橋梁】 現況:4箇所 → 整備後:0箇所(全て回避) 【狭小幅員】 現況:17.1km → 整備後:0.0km(全て回避)	
	災害	◎	地吹雪や洪水浸水等の災害リスクを回避した別線整備により代替性を確保し、災害発生時の道路機能を確保する。 【地吹雪発生区間】 現況:13区間 → 整備後:0区間(全て回避) 【洪水浸水想定区域】 現況:9.1km → 整備後:0.0km(全て回避)	
	環境	○	環境を改善する。 CO2排出削減量31,144t-CO2/年(CO2排出削減便益:44億円)	
地域社会	○	当該事業区間の中川町と天塩町を含む道北地域における地域間連携を深め、生活・産業を支援する。 【稚内港～美深北ICの所要時間】 現況:121分 → 整備後:117分(約4分短縮)		

事業実施環境
・一般国道40号名寄・稚内間整備促進期成会などから、中川～天塩間の早期事業化の要望を受けている。

## 事業評価結果(防災機能)

事業の必要性		
<p>洪水浸水や暴風雪などの災害発生時における住民の避難や復旧活動を支える「命の道」として機能する信頼性の高い道路ネットワークを形成し、物流拠点、空港、港湾、高次救急医療施設等へのアクセス向上により道北地域における農水産業等の産業振興や観光振興、救急搬送などの医療活動を支援するものである。</p>		
評価項目	地域の課題	関連する計画
救助活動等	道北地域では、冬期悪天候による国道通行止めが増加。天塩川上流域の上川北部地域では、洪水・警報注意報の発令日数が増加傾向。現道の地吹雪発生区間や洪水浸水想定区域の存在が課題。	<p>※第9期北海道総合開発計画(R6.3 閣議決定)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・災害時における代替性確保のための高規格道路整備や基幹的な道路ネットワークを強化。</li> </ul> <p>※中川町国土強靱化地域計画(R3)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大規模自然災害において、町民の避難、救急救護活動、物資の供給などが迅速に行えるよう、国道とのアクセス道路や町内の幹線道路及び生活関連道路の整備を進め、安全で信頼性の高い道路ネットワークを確保することが必要。</li> </ul> <p>※天塩町強靱化計画(R7)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・災害時の広域交通の分断を回避し、防災拠点間を結ぶ移動の代替性を確保するため、稚内一士別剣淵区間の高規格幹線道路の整備や市街地をつなぐアクセス道路、緊急輸送道路及び避難路等のネットワーク化を北海道と連携して推進</li> </ul>
住民生活	道北地域では、三次救急医療機関や心疾患の急性期治療を担う医療施設が名寄市のみであり、道北圏の心疾患死亡率は全国平均の約1.3倍と高く、稚内市から名寄市への搬送時間は全道ワースト1位。	<p>※第9期北海道総合開発計画(R6.3 閣議決定)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・北海道の価値を生み出す生産空間での生活を維持するため、広域分散型社会を支える交通ネットワークの形成を図る。</li> </ul> <p>※第8次中川町総合開発計画(R7)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・センター病院である名寄市立総合病院や関係医療機関と連携し、救急医療の強化と適切な医療を受けられる環境づくりに努める。</li> </ul> <p>※第7期天塩町総合振興計画(R6)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域で安心して医療を受けられるよう医療体制確保に努める。</li> <li>・近隣医療機関との連携推進</li> </ul>
地域経済 地域社会	道北地域は、ほたてなどの水産品の漁獲量や生乳・乳製品の生産量が全国トップクラスであり、現道には、狭小幅員区間の連続や冬期悪天候による速度低下や死傷事故が発生しているため、速達性・安全性の高い物流ルートの確保が課題。	<p>※第9期北海道総合開発計画(R6.3 閣議決定)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・農水産物等の輸送を支える高規格道路の整備を推進し、産業を支える物流基盤の整備と物流システムの維持・効率化を図る。</li> </ul> <p>※第8次中川町総合開発計画(R7)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・救急救命や物流など、増大する交通需要に対処し、都市間交流の促進を図るため、高規格道路の建設促進と国道・道道の整備を積極的に要請。</li> </ul> <p>※天塩町強靱化計画(R7)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・災害時においても集送乳などの陸路における農水産物等の円滑な輸送や物流機能の維持を図るため、平時より流通経路となる道路設備等の点検と機能強化を実施。</li> </ul>
その他		

事業の有効性									
<ul style="list-style-type: none"> <li>・当該事業の実施により、主要拠点間のリンクの評価に変化はないものの、主要都市間のリンクの脆弱度が改善し、ネットワーク全体の防災機能が強化される。</li> <li>・本事業により、三次救急医療機関への速達性が向上するほか、稚内港等へのアクセス向上、道北地域における都市間交流の促進、日本の食を支える地域の産業振興を支援するなど有効性の高い事業と評価する。</li> </ul>									
道路ネットワークの 防災機能	主な区間		改善 ペア数	脆弱度 (防災機能ランク)		累積脆弱度 の変化量	改善度		評価
				整備前	整備後		通常時	災害時	
	旭川市	稚内市	20 (7)	0.80 [C] (1.00) [D]	0.47 [C] (0.86) [C]	▲499.4 (▲59.7)	0.12 (0.07)	0.37 (0.14)	○ (◎)

事業の効率性
<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画段階評価手続き完了(R7.12.11)</li> </ul>

※道路ネットワークの防災機能の値は、旭川鷹栖～稚内を対象とした場合の値、( )書きの値は事業化区間を対象とした場合の費用便益分析結果。